

系統レベルの点検・評価 に関する概要 (5号機)

平成21年12月17日

東京電力株式会社

柏崎刈羽原子力発電所



東京電力

系統機能試験一覧（5号機：全28試験）

<ul style="list-style-type: none">・原子炉停止余裕試験¹・主蒸気隔離弁機能試験・非常用ディーゼル発電機, 高压炉心スプレイ系 ディーゼル発電機, 高压炉心スプレイ系, 低压炉心スプレイ系, 低压注水系, 原子炉 補機冷却系機能試験・自動減圧系機能試験・タービンバイパス弁機能試験・給水ポンプ機能試験・制御棒駆動系機能試験¹・ほう酸水注入系機能試験・原子炉保護系インターロック機能試験・計装用圧縮空気系機能試験・制御棒駆動機構機能試験¹・選択制御棒挿入機能試験¹・原子炉建屋天井クレーン機能試験・非常用ガス処理系機能試験・中央制御室非常用循環系機能試験	<ul style="list-style-type: none">・液体廃棄物貯蔵設備・処理設備のインターロック 機能試験（その1）・液体廃棄物貯蔵設備・処理設備のインターロック 機能試験（その2）・液体廃棄物処理系機能試験・固体廃棄物処理系焼却炉機能試験・原子炉格納容器漏えい率試験¹・原子炉格納容器隔離弁機能試験・可燃性ガス濃度制御系機能試験・原子炉格納容器スプレイ系機能試験・原子炉建屋気密性能試験²・非常用ディーゼル発電機定格容量確認試験・直流電源系機能試験・補助ボイラー試運転試験（その1）・補助ボイラー試運転試験（その2）
--	--

枠付き は、今回、試験概要についてお知らせするもの。下線はすでにお知らせ済みのもの。

1：燃料を装荷した状態で実施する試験。

2：燃料を装荷する前の確認として、原子炉建屋気密性能検査（停止後）および非常用ガス処理系機能検査により確認済み。
原子炉格納容器漏えい率試験後に、あらためて原子炉建屋気密性能試験を実施する。

系統機能試験の概要（19）．（給水ポンプ機能試験）

< 本系統の役割【冷やす】 >

給水ポンプは、タービンで仕事を終え復水器に回収された水を再び原子炉へ戻し、原子炉内の水位を一定に保つ役割を持つ。通常時は、タービン駆動原子炉給水ポンプが運転しているが、タービン駆動原子炉給水ポンプが故障等で停止した場合には、電動機駆動原子炉給水ポンプが自動的に起動し、原子炉への給水を途絶えさせないようにしている。

< 試験の目的 >

タービン駆動原子炉給水ポンプの2台運転を模擬した状態で、1台を手動で停止させ、電動機駆動原子炉給水ポンプ2台が自動的に起動することを確認することで、系統の性能が発揮されることを確認する。

